

全国エコファーマーネットワークのシンボルマークの使用細則

平成 24 年 12 月 13 日 制定

(24 土 壤 125 号)

全国エコファーマーネットワーク

一般財団法人 日本土壤協会

1 使用規則^(注1) 第4条 (マークの使用) について

- (1) 第4条第2項に規定する農産物に貼付・添付するシール、包装容器、包装箱にマークを使用することができる者とは、全国エコファーマーネットワーク（以下、「ネットワーク」という。）の正会員であって導入計画^(注2)を都道府県知事に提出し認定を受けたエコファーマーとする。（過去に認定を受けた正会員は農産物に貼付・添付するシール、包装容器、包装箱に使用できない。）
- (2) 第4条第3項によりマークの使用を希望する会員は、全国エコファーマーネットワーク事務局（一般財団法人日本土壤協会）へ別紙申請書を提出するものとする。
なお、農産物に貼付・添付するシール、包装容器、包装箱にマークの使用を希望する会員にあつては、シール等を添付する農産物の生産履歴について別紙参考例「生産履歴」を参考に自主的に作成するものとする。
- (3) 第4条第6項の規程に規定するエコファーマーマークと当該マークを同一農産物への併用禁止は、使用者が同条第7項の規程により許可等を受けた農産物以外に生産する農産物に添付する場合にも適用するものとする。

(注1) 使用規則とは、「全国エコファーマーネットワークのシンボルマーク使用規則」（平成24年12月13日制定 一般財団法人日本土壤協会(全国エコファーマーネットワーク事務局)をいう。

(注2) 導入計画とは、「持続性の高い農業生産方式の導入の促進に関する法律」（平成11年7月28日法律第110号）に基づき、たい肥等を使った土づくりと化学合成肥料・農薬の使用の低減を一体的に行う導入計画をいう。

2 シンボルマークの入手方法について

使用規則第4条の規定に基づきマークの使用を希望し、全国エコファーマーネットワーク事務局へ上記1の(2)の使用申請書を提出した会員に対しては、当該マークを電子データ等で提供することとする。

(別紙様式)

全国エコファーマーネットワークのシンボルマーク使用申請書

平成 年 月 日

全国エコファーマーネットワーク会長 佐々木 陽悦 殿

住 所
(団体名：)
氏名 (代表者名)
(連絡先電話番号：)
ネットワーク会員番号： 号

全国エコファーマーネットワークのシンボルマーク使用規則に基づき、下記のとおりマークの使用を申請するとともに、農産物に貼付・添付するシール、包装容器、包装箱にマークを使用する場合、生産履歴を自主的に作成していることについて全国エコファーマーネットワークのホームページに掲載することについても同意します。

記

使用する内容 (○で囲む)	①販売農産物 ②ポスター ③チラシ ④ワッペン ⑤名刺 ⑥その他 (内容：)			
農 産 物 へ の 利 用 内 容	エコファーマー認定番号			
	農作物名			
	出荷期間			
	予定出荷量			
	農産物添付等内容 (○で囲む)	①シール ②包装容器 ③包装箱 ④その他 (内容：)		
生産履歴の作成内容				

(団体申請で農産物に添付する場合の添付資料)

- ・ 団体構成員の氏名・住所・エコファーマー認定番号(全員)
- ・ 団体規約の写し

(別紙参考例)

生産履歴 (参考例)

(1)基本項目

①生産組織名		②生産者名	
③生産者住所	〒		
④会員番号	(エコネット：)・(エコファーマー：)		
⑤ほ場名		⑥ほ場地番	
⑦栽培面積		⑧播種日	
⑨定植日		⑩収穫開始日	
⑪収穫終了日		⑫栽培様式	露地・施設 ()

(2)ほ場管理 (資材名・10a 当たり使用量等を記入)

①土づく資材(たい肥)		②前作物名	
③前作収穫終了日		④前作使用土壌農薬	

(3)作業内容 (作業内容と施肥(肥料資材名と 10a 当たり使用量)を記入)

年・月・日	作業内容及び使用肥料資材名	肥料使用量

(4)作業内容 (防除・10a 当たり使用量等を記入)

年・月・日	使用農薬名 *粒剤・粉剤・液剤の区分を記入	薬剤使用料		対象 病害虫名
		希釈倍数	散布量	

(*注) 記入枠が不足する場合には適宜、行等を追加し記入。